



名古屋国際学園 学校概要

名古屋国際学園（名古屋インターナショナルスクール）は、中部地方で唯一、全課程で米国西部地域学校大学協会（WASC）及び、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の正式認可を受けたインターナショナルスクールです。

愛知県だけでなく近隣の岐阜県、三重県からも、25カ国以上、約300名の生徒が通学しています。授業は全て英語で行われます。



Data

創立／1964年、生徒数／約300名

設置学部／幼児教育部（3～4歳児）、小学部（キンダーガーテン～5年生）、中等部（6～8年生）、高等部（9～12年生）
認可／米国西部地域学校大学協会（WASC）

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）

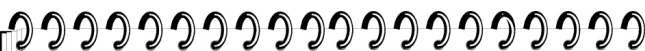
※ 2011年 国際バカロレア・初等教育プログラム（IBPYP）認定予定

スケジュール

米国の標準的なカレンダーに準じ、始業は8月下旬、終業は6月中旬となっていますが、入学選考基準を満たしていれば、編入は随時可能です。

卒業後の進路

卒業時には、アメリカのハイスクール卒業と同等の資格が得られるとともに、国際バカロレアのディプロマ資格を取得するチャンスもあります。卒業生の多くは、アメリカ、カナダなど英語圏の大学に進学します。近年では、早稲田大学、上智大学など、英語のプログラムがある日本の大学に進学した生徒もいます。



学校法人 名古屋国際学園

名古屋インターナショナルスクール

〒463-0002 名古屋市守山区中志段味南原 2686

TEL：052-736-2025 E-mail：info@nis.ac.jp

http://www.nagoyais.jp/japanese（日本語）



税金で運営されている公立学校と異なり、保護者の経済的な負担で運営されている、アメリカの私立学校やインターナショナル・スクールでは、自分たちの子どもの教育の理念・目的・方法を、自分たち（学校コミュニティ）自身で決められる自由があります。

この自由があるから、選択・決断・実践する責任・苦悩、そして恐れが生じます。しかし、その恐れに立ち向かってこそ、「子どもの教育は、我が手で」と言えるのです。NISの皆さん、頑張ってください。

2日間を通し、1日12時間近くの缶詰め状態の会議でしたが、参加したメンバーは皆、子供たちと学校の将来のため、熱心に話し合いを続けました。そして、この会議の集大成が、学校の新しい理念、目標と運営方針です。そこには、私達が理想とする生徒像やコミュニティのあり方が詰まっています。

この運営方針をベースとして、現在は、学校の改善に向けて正しい方向に進んでいるか否かを見極めるのに必要な指標を示した、具体的な実行計画を立てる作業が進行中です。

● 変化を恐れず時代を切り拓く

時代や学校を取り巻く環境が変われば、生徒のニーズも変わります。学校コミュニティはそれに柔軟に適応していかなければなりません。今の子ども達には、彼らの親の世代が受けた教育とは異なった教育が必要となるでしょう。また、明日必要とされるスキルが、今日必要だったスキルと同じであるとも限りません。

新しいことに挑戦すること、何かを変えることには不安が伴うものです。学校の成長期にも何らかの困難がつきものです。しかしそれらの不安も困難も、しっかりと地盤の上に、皆が結束してひとつの目標に向かっていけば乗り越えられるはずです。

ヘラクレイトスの言葉どおり、世界は変化に満ちています。しかし、恐れることはありません。私達の学校の理念を通じ、生徒達が自らの夢を実現するため試練に立ち向かい、いつかより良い世界を創るのに役立ってくれるものと信じています。